安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示マークの見方

警告 「**死亡または重傷などを負う可能性が想定される**」内容です。

注意 「**傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される**」内容です。

禁止 してはいけない「**禁止**」内容です。

強制 必ず実行していただく「**強制**」内容です。

■誤飲による事故防止について

警告 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

分解禁止 分解したり改造しないでください。
故障の原因になります。

注意 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■使用場所について

禁止 下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- ●温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- ●製品仕様の使用温度範囲より低温のところでは、性能や精度が低下することがあります。
- ●浴室など湿気が多いところ。
- ●ほこりが多く発生するところ。
- ●テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- ●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ●温泉場など、ガスの発生する所。
- ●多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- ●プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

お手入れについて

- ●汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせします。

標準電波とは

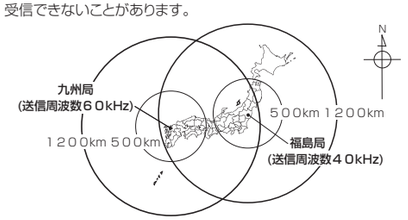
標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

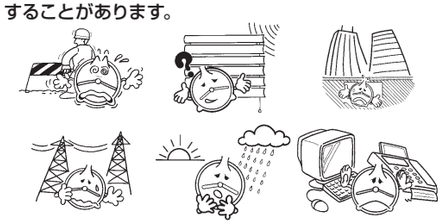
条件のよい時は、送信所から約1200km離れた場所でも受信可能と想定されます。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼／夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。



- ●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。
- ●金属製の雨戸やブラインドの近くビルの地下など
- ●高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- ●朝夕の時間帯、雨天のとき
- ●家電製品やOA機器の近く、スチール机等の金属製家具の上や近く

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻合わせをしてお使いください。

電池のご注意　(電池の正しい使い方)

電池のご使用上のポイント

- ●プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。
- ●時計が動いていても定期的に交換する。
- ●長期間使用しないときは電池を取り外す。
- ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- ●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- ●幼児の手が届かないところに置く 。

電池の種類について

- ●本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- ●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- ●一般に充電式乾電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- ●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
（例 . Panasonic 製オキシライド乾電池）

取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

- ●電池に傷をつけたり、分解しない。
- ●電池をショートさせない。
- ●電池を充電しない。
- ●時計を使用しないときは電池を取り外す。
- ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

警告 **電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。**
衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

注意 **もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。**
ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- ●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- ●使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。
- ●買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

電池の廃棄

- ●お住まい地区自治体の指定にしたがって廃棄してください。

注意 火に入れると破裂の原因となり危険です。

おもな製品仕様

自動受信について
午前２時*、３時*、６時*、10時台、午後２時、６時、10時台の７回行います。いずれも16分40秒に受信を開始します。
* 印の時刻のときは秒針が12時位置に停止します。
※針位置を修正するときに 12 時位置に移動することがあります。

時間精度	●標準電波の受信に成功している場合(補正直後) 秒針　±1秒以内 時針／分針　目盛りに対して±3度 ●標準電波を受信できない場合 平均月差　±30秒以内(常温中)
使用温度範囲	−10〜+50℃
使用電池	単2形マンガン乾電池(JIS規格 R14P)　1個
電池寿命	約1年間　1日にアラーム30秒、ライト3秒使用
アラーム精度	表示時刻に対して±5分
アラーム音	4段階電子音(鳴り方が変化)
その他	標準電波 標準電波受信による時刻修正 福島局／九州局自動選択 自動電波受信回数　1日7回 標準電波受信ON/OFF切り替え 受信結果確認(ランプの点滅または点灯) アラーム スヌーズ機能(止めてもまた鳴る) リピート機能(約2分間鳴り、約5分間休止を繰り返す) 文字板面手動照明

●製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

保証について

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
8. 電池の交換

※　送料・出張料は、実費をいただきます。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品(電子回路・歯車等)は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース・文字板等)の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

CITIZEN®

電波時計
(電子音目覚まし時計)
取扱説明書／保証書

取扱説明書番号　E201−CGXY

お買い上げありがとうございます。
- ○ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ○この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**
本社　〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

お問合せ先 ■お客様相談室　☎0120-557-005
受付時間　9：00〜17：00　(土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせの際は、時計裏面などに表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例 4RLA○○

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

GUARANTEE
保証書

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。
尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。
保証書は再発行いたしません。

※品名・型番

※保証期間　お買い上げ　　年　　月　　日より　1年間

お客様　ご氏名　　様
ご住所
TEL(　　)　　−

※販売店所在地

※店　名

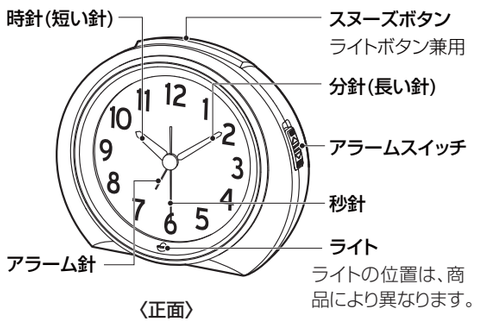
※印は販売店記入

- ●部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- ●この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ●ご記入いただきました個人情報は、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

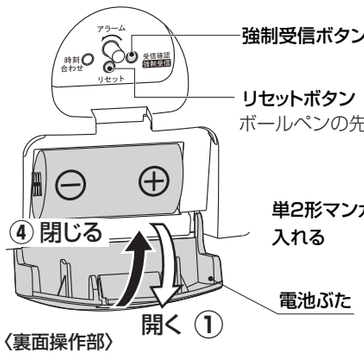
■販売店の方へ
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

1. 時刻の合わせ方（はじめてお使いになるとき）

図は操作説明用ですので実際の商品とは異なることがあります。



〈正面〉



〈裏面操作部〉

標準電波を受信しないで、手動で時刻を合わせる場合は、「3. 電波を受信できない場合」の「手動時刻合わせ」を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすいところで操作してください。

①電池ぶたを開く

②電池を入れる

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れます。**電池を逆に入れると、時計は動きません。**

③リセットボタンを押す

針が早送りで12時位置に移動して停止し、受信を開始します。

※電池を入れた後は必ずリセットボタンを押してください。

④電池ぶたを閉じる

⑤受信結果を確認する

最長15分程度受信を行います。受信が終わると針が早送りで時刻を示します。

※アラームスイッチがONになっていると秒針は12時位置に停止したままになります。

強制受信ボタンを押してすぐに離すと、ライトで受信結果をお知らせします。

3回点滅　:受信成功　（正しい時刻）

3秒間点灯　:受信失敗　（不正確な時刻）

→「3. 電波を受信できない場合」へ

消灯したまま:受信中

ライトは文字板面内にあり、照明と兼用です。

○受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。⇒場所を変えて、リセットボタンを押してください。

商品例

（商品には蓄光を使用しておりません）

4RLA05

4RLA06

4RLA07

電池の交換について　早めに交換して液もれを防ぎましょう

注意

電池からの液もれにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。

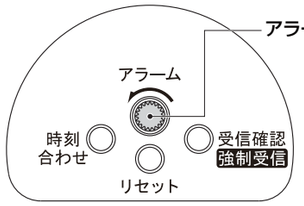
●時計が止まったり、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。

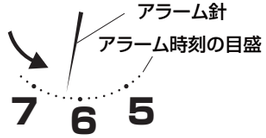
●動いていても1年に1回定期的に交換する。

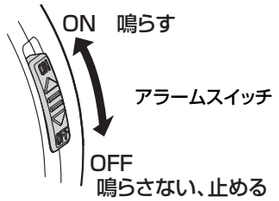
●電池の⊕⊖を逆に入れない。

アラームや照明などの使用頻度により、製品仕様より短い期間で電池の交換が必要になることがあります。時計の進み・遅れが大きいときや照明をつけると正常に機能しなくなるときは、指定の新しい電池に交換してください。

2. アラームの使い方







❶アラーム時刻の合わせ方

アラームつまみを**必ず矢印の方向（反時計回り）に回し**、アラーム針をアラーム時刻に合わせます。アラーム時刻は10分単位でセットできます。

□スヌーズ機能とライト機能

アラームが鳴っているときにスヌーズボタンを押すと、アラームはいったん止まり、約5分後に再び鳴り始めます。（スヌーズ機能）

再び鳴らないようにするには、**アラームスイッチ**をOFFにします。

スヌーズボタンはライトボタンを兼ねていますので、スヌーズボタンを押すと、約3秒間文字板面を照明します。

□リピート機能

鳴っているアラームを放置すると、約2分間鳴り、約5分間休止を繰り返します。**止めるにはアラームスイッチをOFFにしてください。**

❷アラームスイッチの設定

アラームスイッチを**ON**にすると、合わせた時刻にアラームが鳴ります。アラームを止めるとき、またはアラームを鳴らさないときは**OFF**にします。

※アラームスイッチをONにすると秒針は12時位置に停止します。

※リセットまたは強制受信により、電波を受信しているときは、アラームは鳴りません。

※アラームスイッチをOFFにしないと、午前と午後の2回アラームが鳴ります。

□アラームの鳴り時間

アラームセット時刻より30～60分間スヌーズ機能またはリピート機能が使えます。

□アラーム音の試聴

アラームスイッチをONにして、アラーム針を回して現在時刻に合わせてください。

■ 電波受信機能のON/OFF

標準電波を利用する、しないを設定することができます。

強制受信ボタンと**時刻合わせボタン**を3～4秒間押し続けます。秒針が早送りで2時または10時位置に移動し、約5秒間停止したあとに時刻表示に戻ります。

2時：　電波受信機能ON状態
定期的に受信を試み、電波の受信に成功すると時刻を標準時刻に合わせます。

10時：　電波受信機能OFF状態
標準電波を受信しません。

操作を繰り返すとONとOFFが切り替わります。

※電波を受信しているときは切り替えできません。

※**リセットボタン**を押すと受信機能はONとなり、受信を開始します。

■ 強制受信とリセット

強制受信 →受信に失敗した場合に時刻を継続。

リセット →時刻を12：00にセットし、標準電波の受信機能をONにして受信を開始します。

強制受信は、場所を移動したときなどに使い、リセットは電池を交換したときや静電気の影響などにより誤作動したときに使います。

強制受信は、**強制受信ボタン**を約3秒間押し続けると、針が早送りになり12時位置に移動して受信を開始します。受信機能がOFFのときは機能しません。

3. 電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般に夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える

電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所（取扱説明書の日本地図を参考）に、なるべく時計の正面または裏面が向くように置き、リセットボタンを押して受信を開始してください。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

電波を受信できない場合や意図的に時刻を変えたい場合は、手動で時刻を合わせることができます。

■手動時刻合わせ

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

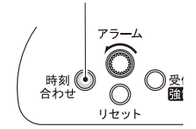
時間精度はクオーツ精度になります。

●手動で時刻を合わせても、電波の受信に成功すると時刻を修正します。

→「**電波受信機能のON/OFF**」参照

時刻合わせボタンを約3秒間押し続けると手動時刻合わせ状態になります。

時刻合わせボタン



○時刻合わせボタンを**押し続けると早送り。**

○時刻合わせボタンを**押して、すぐに離すと1分進む。**

※時刻合わせボタンを押している間は、秒針は停止します。

㊟ボタン操作をしていないのに針が早送りしているときは手動で時刻合わせができません。通常の時刻表示のときに操作をしてください。

手動時刻合わせを終わるには

時刻合わせボタンを6秒間操作しないでください。